

ピックアップ

pick up

コールセンター業務

を手がけるキューアンドエー(東京都渋谷区)は10月15日、同社とグループ会社のコールセンターに勤務するオペレーターが応対品質を競うコンテストを開催した。アニバーサリー

に関する企画・提案を行う「ハッピーオフア株式会社」のコールセンターで顧客の様々な要望に応える、との設定で競技し、その応対を競い合った。今回は節目となる10回目の開催となった。

コンテストには、キューアンドエーから5人、ディー・キュービックスから4人、ザクアから1人、ワークスア

イディから1人の計11人がエントリー。競技は、今回のアポイントにピックアップの星野さん(左)とテーマは「幸せな人たちをもっと幸せに出来る過程を競った。」

「キャッチコピー賞」は、ディー・キュービックス(その人柄とキャッチコピーを体現する演技を披露したオペレーターが優勝を勝ち取った。優勝者のトレーナー・キュービックス西日本

の誕生日や祖父の誕生日に贈られる「ベストオペレーション部の松生日、両親の結婚記念日、退院祝いなどのア徹さん。準優勝はディー・松尾さんのキャッチコピー「日本文化を守り、特別賞は10回目を

Q&Aグループ

応対コンテスト開催

節目となる10回目を11人が競う

れ、各オペレーターが、ディー・キュービックスがワンツーフイニックスを果たした。第3エント第1オペレーター、キューアンドエーの羽田なつみさん。 西日本オペレーション部の受賞となった。 昨年は新型コロナウイルスの拡大を

記念し第10位のオペレーター、キューアンドエーの受賞となった。 今年度は、一部地域の拠点においてリモートで競技の参加となったが、今回は全員が東京・品川駅近くの会場でコンテストに参加した。開催の成功を祈願した。



ドエーの川田哲男社長は「人に寄り添う」をモットーとするコンタクトセンター業務にあたって、コロナ禍で役割は従来より増えていると自負している。オペレーターは名前を出さずに声ひとつで多様な事柄の解決に取り組んでくれている。声は力の源泉と考える。舞台上立つ皆へエールを贈ります」と述べ、競技者を労った。

なお、コンテストは今回が10回目の開催だった。競技開始前に川田哲男社長や来賓などが鏡開き(コロナ禍のため酒は入っていない)を行い、記念となる開催の成功を祈願した。